

PRESS RELEASE

**【セキュリティレポート】4.6億通の国内組織における受信メールを分析
悪性メールは42%、うち91%はフィッシング**

情報セキュリティメーカーのデジタルアーツ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:道具 登志夫、以下デジタルアーツ、証券コード 2326)は、日本国内の組織における受信メール約4.6億通を集計し、悪性メールを分析したセキュリティレポートを公開しました。

調査概要

今回の調査※1は、国内の組織818を対象に「受信したメール」約4.6億通の集計をおこないました。海外の企業、組織を対象としたメール調査が多く見られる中、国内における企業、団体の受信メールを対象としています。

今回の調査では、対象となる受信メールから、「悪性メール」「正常メール」の分類を行い、その「悪性メール」はどのような理由で悪性と判定されたのかを調査しました。本調査において記載している「悪性メール」とは、添付ファイルの開封や、記載されたURLを開くことで、マルウェアへの感染やフィッシングサイトへの誘導などの可能性があるメールを指します。※2

※1…集計期間:2024年8月~2025年2月

組織数:国内818

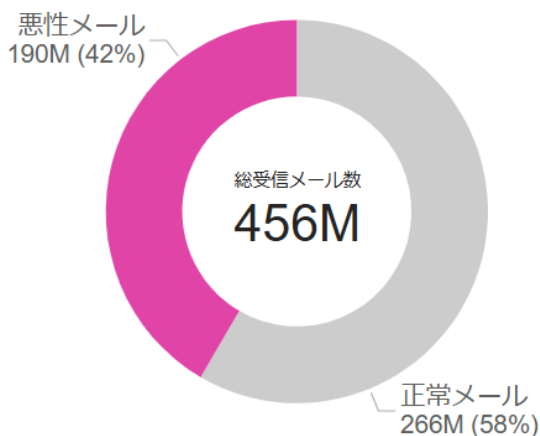
受信メール数:約4.6億

※2…悪性メールの判定は、m-FILTERのAnti-Spam(アンチスパム)機能および偽装メール対策機能の判定結果を用いています。また、これらの機能を利用している組織のみに絞って集計しています。

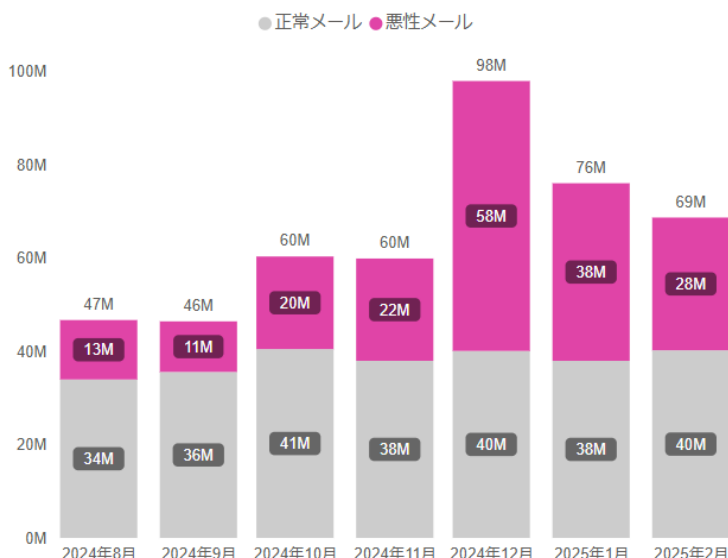
調査対象4.6億通のうち、42%が悪性メール

調査の結果、対象となる約4.6億通のメールのうち、42%に当たる約1.9億通が悪性メールとしてブロックの対象となりました。また月別のグラフで見ると、悪性メールは年末にかけて増加し始め、特に2024年12月は激増し、11月と比較すると約2.5倍増加していました。また、12月は悪性メールの割合が59%と、正常メールを上回りました。

正常メールと悪性メール



正常メールと悪性メール(月別)



悪性メールのうち 91%がフィッシングメール 上位 4 ブランドで過半数占める

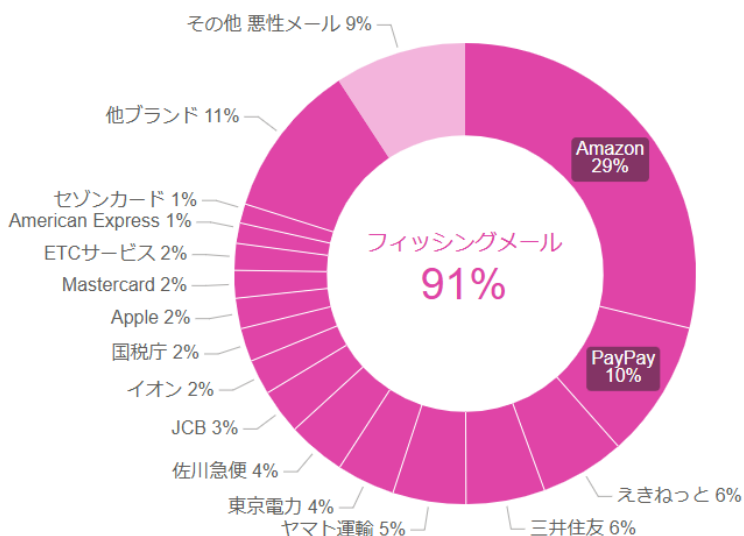
調査では「悪性メール」と判定されたメールについて、どのような理由で悪性判定されたのかを調査しました。その結果、「悪性メール」のうち 91%がフィッシングメールであることがわかりました。

以下の図は悪性メールの内、フィッシングメールに悪用されたブランド名の分類データです。※3 内訳を見ると、上位 4 つのブランドのフィッシングメールだけで半数を占めることがわかります。(Amazon 29%、Pay Pay 10%、えきねっと 6%、三井住友 6%)

詳細レポートではブランド別の月別推移、フィッシングメールで最も使用された上位メール件名なども記載しています。

※3…グループ企業は 1 つのブランドにまとめています。(例: SMBC グループの三井住友カード、三井住友銀行など)

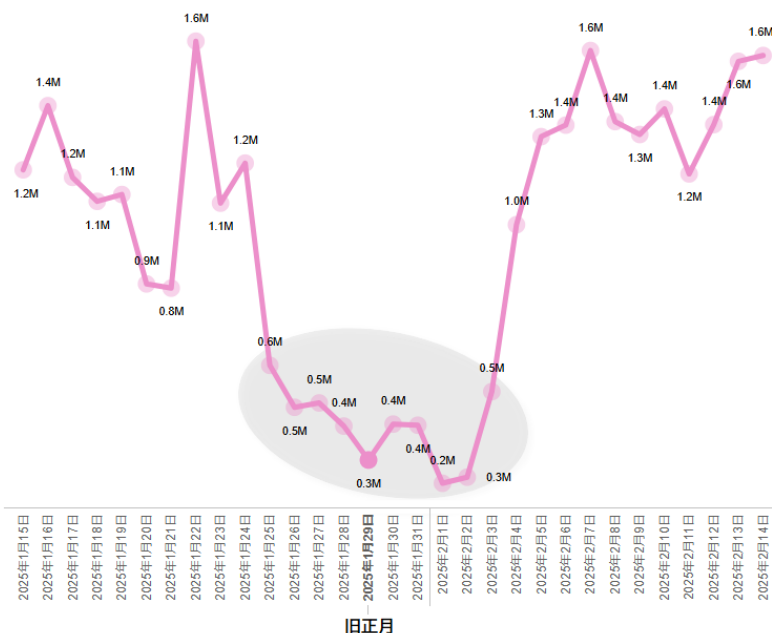
悪性メールの内訳



アジア圏の「旧正月」時期に悪性メールは急減の傾向

更に細かく日別の集計を見ると、1 月末から 2 月初めにかけて悪性メールが急に減少した期間が見受けられました。また、その減少している期間は、「旧正月 (今年は 2025 年 1 月 29 日)」の期間とほぼ一致していましたが、その因果関係については不明です。

旧正月前後の悪性メール推移



「旧正月」とは旧暦でのお正月のことで、アジア圏では複数の国で祝われ、一部の国では「春節」とも呼ばれます。旧正月を祝う国では、前日の大晦日から一週間程度が国の休日となるところが多いとのこと。

その他の悪性メール

フィッシングメール以外の「悪性メール」は、全体の 9%であり、内訳には以下が含まれています。

1. アカウントや支払い情報の確認を要求するようなもの
2. バウンスメール(メールが送信できなかったと装うもの)
3. ブランドコピー品や男性用の薬等の販売・宣伝
4. 懸賞品やポイントを入手できると称するもの
5. セクストーションメール(性的な写真や動画を手に入れたと嘘をつき、公開されたくなければ金銭を仮想通貨等で支払うよう脅迫するもの)
6. マルウェアに感染させる目的のメール
7. その他様々な広告や、迷惑メール(例えば、2024 年 8 月には地震発生に便乗し、偽の義援金を募集する不審なメールも報告されています。)*4

※4…独立行政法人国民生活センターWeb サイトを参考(https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20240830_1.html)

詳細のセキュリティレポートはこちら

[2025 年 3 月公開] 4.6 億通の国内組織における受信メールを分析 悪性メールは 42%、うち 91%はフィッシング

https://www.daj.jp/security_reports/45/

■デジタルアーツのメールセキュリティ「m-FILTER」

メールセキュリティ対策は「m-FILTER(エムフィルター)」Ver.5

メールセキュリティ「m-FILTER(エムフィルター)」Ver.5 は、電子メールフィルタリング(送受信制御)による誤送信対策、全保存(メールアーカイブ)・検索機能による内部統制・コンプライアンス強化、スパムメール対策・メールセキュリティの推進を実現します。

[m-FILTER@Cloud](#) | [DigitalArts@Cloud](#)

「m-FILTER」のクラウド版「m-FILTER@Cloud」ではホワイト運用を可能にし、安全なメールだけを受信できる環境を実現します。また「クラウドメール環境」では対応できない誤送信対策も実現します。

デジタルアーツ株式会社 概要

Web、メール、ファイルなどのセキュリティソフトウェアの提供を核に事業展開する情報セキュリティメーカーです。1995 年の創業以来、「より便利な、より快適な、より安全なインターネットライフに貢献していく」を企業理念とし、情報漏えい対策や標的型攻撃をはじめとするサイバー攻撃対策を実現する最先端の製品を、企業・官公庁・学校・家庭向けに提供しています。

東京都千代田区大手町 1-5-1 大手町ファーストスクエア ウェストタワー14F ▶URL: <https://www.daj.jp/>

<本リリースに関するお問い合わせ>

デジタルアーツ株式会社 広報課 畑楠・関 TEL : 03-5220-1670/ E-mail : press@daj.co.jp

※デジタルアーツ株式会社の製品関連の各種名称・ロゴ・アイコン・デザイン等登録商標または商標は以下弊社 Web サイトに記載しております。
<https://www.daj.jp/sitepolicy/>

※その他、上に記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。